

[江別市] 施策達成度報告書

政策 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

施策 01 子どもの可能性を伸ばす教育の充実

主管課 総務課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (22年度)	施策の課題 (22年度)
<p>現在、人口の減少や少子高齢化が急速に進行し、暮らしの安全・安心の確保や多様化する環境問題などに直面しています。</p> <p>そのような中、都市化の進展など社会の成熟化に伴い、地域社会の連帯意識の希薄化や家庭での教育力の低下が指摘されるなど、教育を取り巻く環境が大きく変化してきています。</p>	<p>これからの社会を生きるために、基礎的な知識・技能を修得し、それらを活用して、自ら考え様々な問題に積極的に対応できる力を育むとともに、たくましく生きるための健康や体力を培える安心・安全で快適な教育環境の保持が必要です。</p>

施策の目的

子ども一人ひとりの個性をとらえ、知育、徳育、体育の教育的営みの中で、「個々に応じた教育」を実践することによって、社会に貢献できる人材を育成します。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

基礎・基本の学力を確実に身につけ、自分で課題を見つけ自ら学び自ら考え主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する能力や豊かな人間性、健康と体力等の「生きる力」を育成する。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
「生きる力」が身についた児童・生徒の割合	%	64.9	68.2	68.3		↗

施策の達成状況 (22年度)

T・Tや少人数指導など児童・生徒へのきめ細やかな対応を行ってきましたが、成果指標は横ばい傾向にあります。平成23年度からは小学校で学習指導要領が完全実施され学習内容が大幅に増えることから、今後、学校支援ボランティアの派遣を行うなど、さらに一人ひとりの理解度に応じた指導をしていく必要があります。また、児童・生徒の安全対策についても、校舎屋体の耐震化や防災教育など様々な取り組みを通して安全確保に努めていく必要があります。

施策事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータル(千円)	2,189,954	2,158,754	2,098,426
事業費(千円)	1,530,582	1,512,664	1,445,437
人件費(千円)	659,372	646,090	652,989

01 教育内容の充実

基本事業の目的

特色ある教育メニューをつくり教育内容の充実を図ることで、子ども一人ひとりの個性に応じた教育が受けられるようにします。また、障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な教育的支援が受けられるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

きめ細かで、時代に即した教育の促進を図る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
教科の勉強が好きと答えた児童・生徒の割合	%	68.0	75.4	70.5		↗
学校の授業が分かると答えた児童・生徒の割合	%	95.3	85.8	90.3		→
不登校児童・生徒数	人	89	93	78		75

基本事業の達成状況 (22年度)

新学習指導要領の先行実施により、学習内容の質・量とも増加したため、教科の勉強が好きという割合が前年度より減少したと考えられます。ボランティア講師の派遣などにより、児童生徒の個人の理解度に応じた指導を行うことで、授業が分かるという割合が前年度より増加したと考えられます。今後は、きめ細やかな指導が行えるようさらに学習支援ボランティアの派遣を行うと共に、指導方法を工夫していきます。不登校児童・生徒数の人数は、わずかながら減少しており、学校等の粘り強い指導によるものであり、今後は、学校での指導とともに、地域や家庭の課題に対応できるスクールソーシャルワーカーの配置など努めていきます。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	378,413	263,911	301,950
事業費(千円)	337,748	220,387	257,958
人件費(千円)	40,665	43,524	43,992

02 開かれた学校づくり

基本事業の目的

学校、家庭、地域が連携して開かれた学校づくりを進めることにより、子ども達を健康的に育みます。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生、地域

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

学校、家庭、地域が連携し子ども達を育む。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
学校、家庭、地域が連携していると思う市民割合	%	67.0	67.3	-		↗
学校が地域交流の場として、活用されていると思う市民の割合	%	53.4	54.0	-		↗

基本事業の達成状況 (22年度)

地域の方への学校一斉公開、ホームページでの学校の紹介、学校評議員への地域の方の委嘱、学校関係者評価に保護者や地域の方の意見を取り入れるなど連携を進めています。地域の方が学習支援ボランティア等として学校に来ていただくようにするなど、学校と家庭・地域が連携し、地域交流の場となる取り組みを進めていく必要があります。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	5,149	5,207	5,306
事業費(千円)	3,074	3,192	3,270
人件費(千円)	2,075	2,015	2,036

03 健康と食育の充実

基本事業の目的

正しい生活習慣を身につけ、食の大切さを理解しスポーツに親しむことによって、心身ともに健康な身体を育みます。

対象 (誰を対象とした指標か)

小・中学生、保護者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

健康な体を育む。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合	%	81.9	85.7	84.6		↗
学校給食の残食率	%	18.8	19.7	18.7		18.0
スポーツに親しんでいる児童・生徒の割合	%	64.5	60.2	-		↗

基本事業の達成状況 (22年度)

朝食を食べて学校に通う児童・生徒の割合はやや減少したものの、学校給食の残食率はやや改善しており、初期値(19年度)と比べるといずれの指標も3年の間に改善がみられます。これは、栄養教諭による「食に関する指導」の浸透や、学校における食育への取り組みが正しい食習慣を身につけることや食の大切さの理解につながったものと考えられますが、単年度の結果だけでは判断できず、今後の傾向を見守る必要があります。市としても、市内の小中学校で「弁当の日」を設定し、児童生徒が自分で弁当を作るなどの「食」に関する取り組みを進めていきます。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	466,972	464,953	472,629
事業費(千円)	272,715	275,462	281,932
人件費(千円)	194,257	189,491	190,697

04 教育環境の充実

基本事業の目的

学校の適正規模化を推進し、さらに学校施設の整備を図るなど教育環境を充実させることで、子ども達にとって安全で快適な「学び舎」にします。

対象 (誰を対象とした指標か)

学校施設

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

快適で安心して学習のできる学校施設が整っている。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
適正規模(12クラス~18クラス)の学校の割合	%	44.8	37.9	48.3		50.0
学校施設維持管理上の不具合のうち授業に支障が発生した件数	件	0	0	0		0
耐震化を終えた学校の割合(参考)	%	48.3	58.6	65.5		↗

基本事業の達成状況 (22年度)

校舎・屋内体育館・屋外施設などについては、優先度、緊急性に配慮しつつ計画的に整備を行い、学校環境の充実に努めてきました。また、耐震化への取り組みとしては全体として耐震化を終えた学校は増加していますが、今後はレンガ造校舎への対応についても方向性を見つげながら取り組みを推進し、事務事業の総合的取り組み・成果の向上を目指します。

基本事業コスト	21年度決算額	22年度決算額	23年度当初予算
トータルコスト(千円)	1,055,579	1,110,189	971,125
事業費(千円)	680,508	747,892	606,594
人件費(千円)	375,071	362,297	364,531